

チャレンジ農業！次のステージへ！

# 宮農情報ならは⑧

檜葉町産業振興課（令和3年4月号）

今回は、チャレンジ農業！「夢の実現」特集です。

- ① 松本博之さん「新規就農し、和牛を飼う楽しみを実感！」
- ② 渡辺秀幸さん「若い人に繁殖経営の楽しさを伝えたい！」
- ③ 志賀正則さん「優良な堆肥生産を行い耕畜連携を実現！」
- ④ 蛭田博章さん「持続可能な経営を目指し、人材を育成！」
- ⑤ 渡部 昇さん「若い力と新たな発想を取入れ繁殖経営！」
- ⑥ 高橋 亮さん「甘藷等の農産物を栽培し、直売所開設！」



## 【繁殖】新規就農し、和牛を飼う楽しみを実感！

### <宮農再開までの道のり>

松本博之（まつもとひろゆき）さんは、牛舎の設計や機械の購入等、これまで多くの方々から様々な協力を得ながら段階的に進めてきました。福島県や宮崎県の市場から順次、黒毛和牛を導入し、飼養管理をスタートすることができました。毎日、牛と接することで表情や性格の違いを感じ、牛を飼う楽しみを実感しています。



導入された20頭の黒毛和牛  
(令和3年4月16日撮影)

### <私のチャレンジ農業！>

- ① 優良な繁殖牛の生産に向けて生産技術を高め、堅実な畜産経営に取り組みたい！
- ② 良質な自給飼料と堆肥の生産に取り組み経営の安定化を図りたい！

◎現在の飼養頭数と今後の飼養計画  
現在：親牛育成中20頭  
今後：親牛を30頭に増頭する計画で  
親子併せて55頭規模の見通し

## チャレンジ農業！～移住・定住・新規就農～

檜葉町（女平地区）で、甘藷栽培に取り組んでいる若き農業者「高橋亮（たかはしりょう）」さんに、就農のきっかけや現在の状況、これから取り組もうとしているチャレンジ農業！について、お聞きしました。



### プロフィール

高橋亮さん（41歳）令和2年5月、個人事業主として開業。檜葉町で先進的に農業経営を行っている生産法人等に雇用就農。今春から本格的に甘藷等の栽培にチャレンジ！



甘藷栽培は土づくりから！  
(令和3年4月15日撮影)

### 就農のきっかけ

檜葉町で新たな生活をスタートするにあたり、地元の農業者から情報収集した際、女平地区の農地付き一戸建ての物件を紹介されたのがご縁。既に甘藷をはじめとした高原野菜の栽培等に取り組んでいます。

### 今後、チャレンジしたいこと

- ① 有機肥料をほ場に施用し甘藷の収量と品質向上を図りたい！
- ② 甘藷をはじめ10数種類の野菜を栽培し、農産物直売所を開設したい！
- ③ 女平行政区長として地域の顔の見える関係づくりに取り組みたい！

### 檜葉町に移住・定住・就農しようとする方へのアドバイス

- ・ 就農した後の自分がどのような生活を送るのかをイメージしましょう。
- ・ 町役場や地域農業者等から必要な情報をできる限り収集しましょう。
- ・ 周辺の農業者や関係機関との人間関係、人脈を築くことも大切です！



発行日 令和3年4月  
発行 福島県檜葉町  
編集 檜葉町産業振興課  
〒979-0696

福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6  
TEL：0240-23-6104 FAX：0240-25-1234

チャレンジ農業！次のステージへ！  
～持続可能な農業の実践～

## 【酪農】持続可能な経営を目指し人材を育成！

### <営農再開までの道のり>

農事組合法人代表の蛭田博章（ひるとひろあき）さんは、平成27年から牧草の播種や草地更新等を経て、合計36回に及ぶ原乳検査を実施し、すべてND（不検出）となり、29年1月に原乳の出荷を開始することができました。また、各種支援事業を活用し「搾乳ロボット」を導入したほか、町内畜産事業者3戸合同で女牛堆肥生産組合を設立し、堆肥舎を整備しました。耕種農家等のニーズに対応した扱いやすい完熟堆肥の生産にも取り組んでいます。

### <私のチャレンジ農業！>

- ・持続可能な畜産経営を目指した人材を育成する！
- ・良質な原乳生産と自給飼料の確保、堆肥の生産！
- ・未来を担う子どもたちとの酪農体験の取り組み！



衛生的な環境で搾乳作業

（令和3年4月16日撮影）

◎現在の飼養頭数と今後の飼養計画

現在：親牛93頭、子54頭（北海道に預託中）合計147頭

今後：親牛約100頭、子牛は預託せず飼養していく方針

## 【繁殖】若い力と新たな発想で繁殖経営！

### <営農再開までの道のり>

渡部昇（わたなべのぼる）さんは、酪農経営から繁殖経営に転換を図るため牛舎の改修等を行い、平成29年10月から営農を再開しました。

今春から息子の秋宣（あきのり）さんが就農。若い力と新たな発想も取り入れながら親子で繁殖経営に取り組めます。秋宣さんは、福島県立農業短期大学の畜産経営学科に所属し、畜産経営のほか黒毛和牛の飼養管理等について学びました。父母と繁殖経営に組み、夢の実現に向け期待が膨らんでいます。

### <私のチャレンジ農業！>

- ・優良な繁殖雌牛と健全な子牛の育成に取り組む！
- ・家族で飼養できる範囲で頭数拡大を図りたい！
- ・良質な堆肥生産にも取り組み耕畜連携を目指す！



今春から親子で飼養管理！

（令和3年4月13日撮影）

◎現在の飼養頭数と今後の飼養計画

現在：親牛24頭（育成中2頭）子牛19頭 合計45頭

今後：親牛を40頭に増頭する計画で親子併せて70頭規模の見通し

## 【繁殖経営】若い人に繁殖経営の楽しさを伝えたい！

### <営農再開までの道のり>

渡辺秀幸（わたなべしゅうこう）さんは、平成28年から飼養実証に組み、翌年には親牛用の牛舎と堆肥舎を整備しました。

親牛30頭を目標に計画的に飼養頭数を増やし、規模拡大に組みました。今年は、牧草地を10haに拡大し、自給飼料を生産するほか、耕種農家や近隣農業者へ堆肥の供給を継続的に行う方針です。

獣医師不足の解消のためにも樫葉町で畜産経営に取り組む仲間が増えることを期待しています。

### <私のチャレンジ農業！>

- ・地域の財産である農地と環境を守っていききたい！
- ・若い人に和牛の繁殖経営や楽しさを伝えたい！
- ・耕種農家と連携して、循環型農業を実現したい！



日々の給餌で体調チェック！

（令和3年4月16日撮影）

◎現在の飼養頭数と今後の飼養計画

現在：親牛30頭、子23頭 合計53頭

今後：親牛36頭に増頭する計画で全体で65頭規模の見通し

## 【繁殖】家族間継承で担い手・後継者を育成！

### <営農再開までの道のり>

志賀正則（しがまさのり）さんは、畜舎や堆肥舎等を単管パイプで自作し、平成29年から黒毛和牛の繁殖経営に組み、現在は親子併せて37頭にまで飼養頭数を拡大しました。また、町内の耕種農家との糞殻・堆肥の交換を行っており、昨年購入したマニアスプレッダー（堆肥散布機）を活用し、堆肥散布を通して耕畜連携にも取り組む計画です。

今後は、樫葉町に移住・定住し、有機農業に関心の高い耕種農家と連携・協力していく方針です。

### <私のチャレンジ農業>

- ・早期離乳で発情回帰を早めて1年1産を目指す！
- ・優良な堆肥生産を行い耕畜連携を実現したい！
- ・家族間継承を想定した担い手・後継者の育成！



良好な環境で飼養管理

（令和3年4月13日撮影）

◎現在の飼養頭数と今後の飼養計画

現在：親牛21頭、子牛16頭 合計37頭

今後：親牛を30頭に増頭する計画で親子併せて55頭規模の見通し